

2022年3月期 第2四半期 決算説明資料

2021年11月25日

証券コード:6082



2022年3月期 第2 四半期 業績報告 — 成長戰略

連結業績推移 – 第2四半期累計

22.3期 2Q累計業績

売上高は前年並みに戻すものの、今後の成長への投資による販管費増により減益

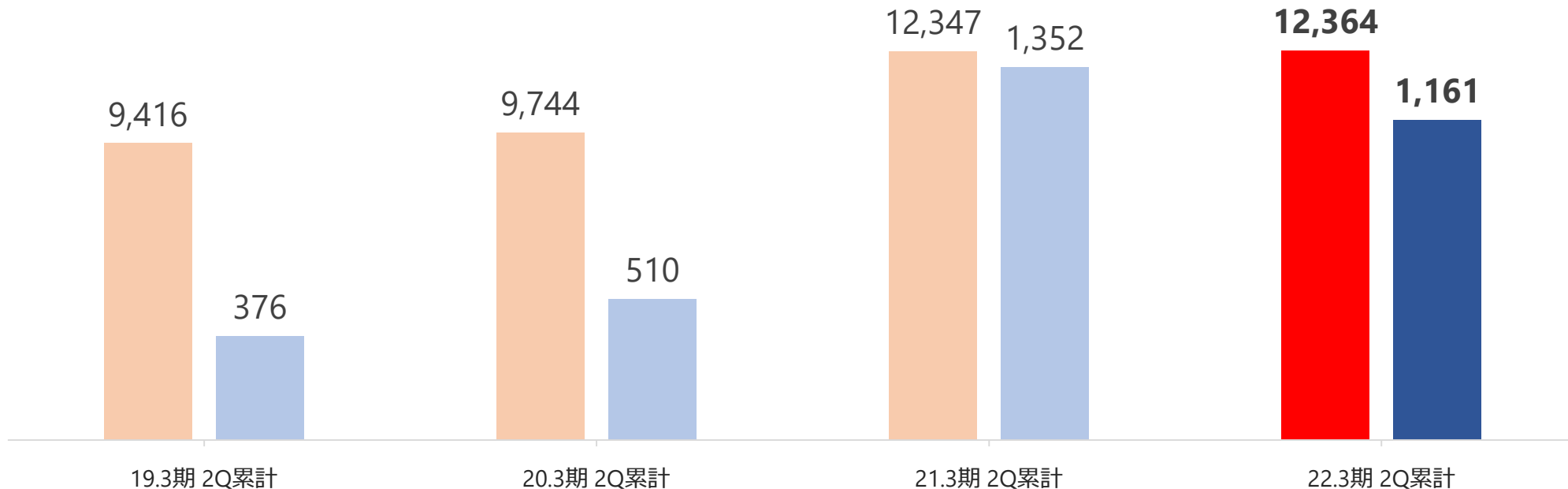
<売上高> 前期比+17百万円、増減率+0.1 %

- 日常利用としてのフードデリバリー需要の増加により、宅配寿司「銀のさら」、宅配御膳「釜寅」の売上が堅調に推移したことにより増収となる。

<経常利益> 前期比△190百万円、増減率△14.1 %

- 売上獲得のマーケティング、新たなシステム開発、新たなデリバリーブランド開発、投資有価証券売却益の減少などにより、経常利益は減益となる。

■ 売上高 ■ 経常利益 (百万円)



連結業績推移 – 第2四半期

22.3期
2Q業績

緊急事態宣言の長期化に伴うデリバリー需要増により増収増益

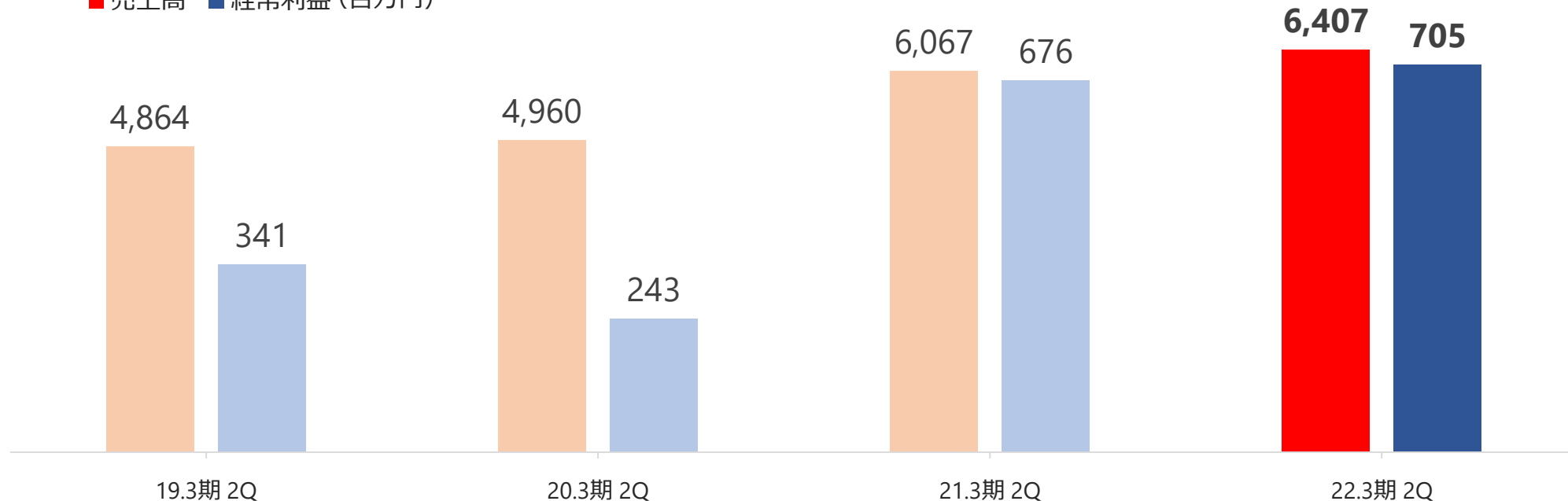
<売上高> 前期比+340百万円、増減率+5.6 %

- 緊急事態宣言が長期化したことにより、日常利用としてのフードデリバリー需要が継続。宅配寿司「銀のさら」、宅配御膳「釜寅」の売上が堅調に推移したことにより増収となる。

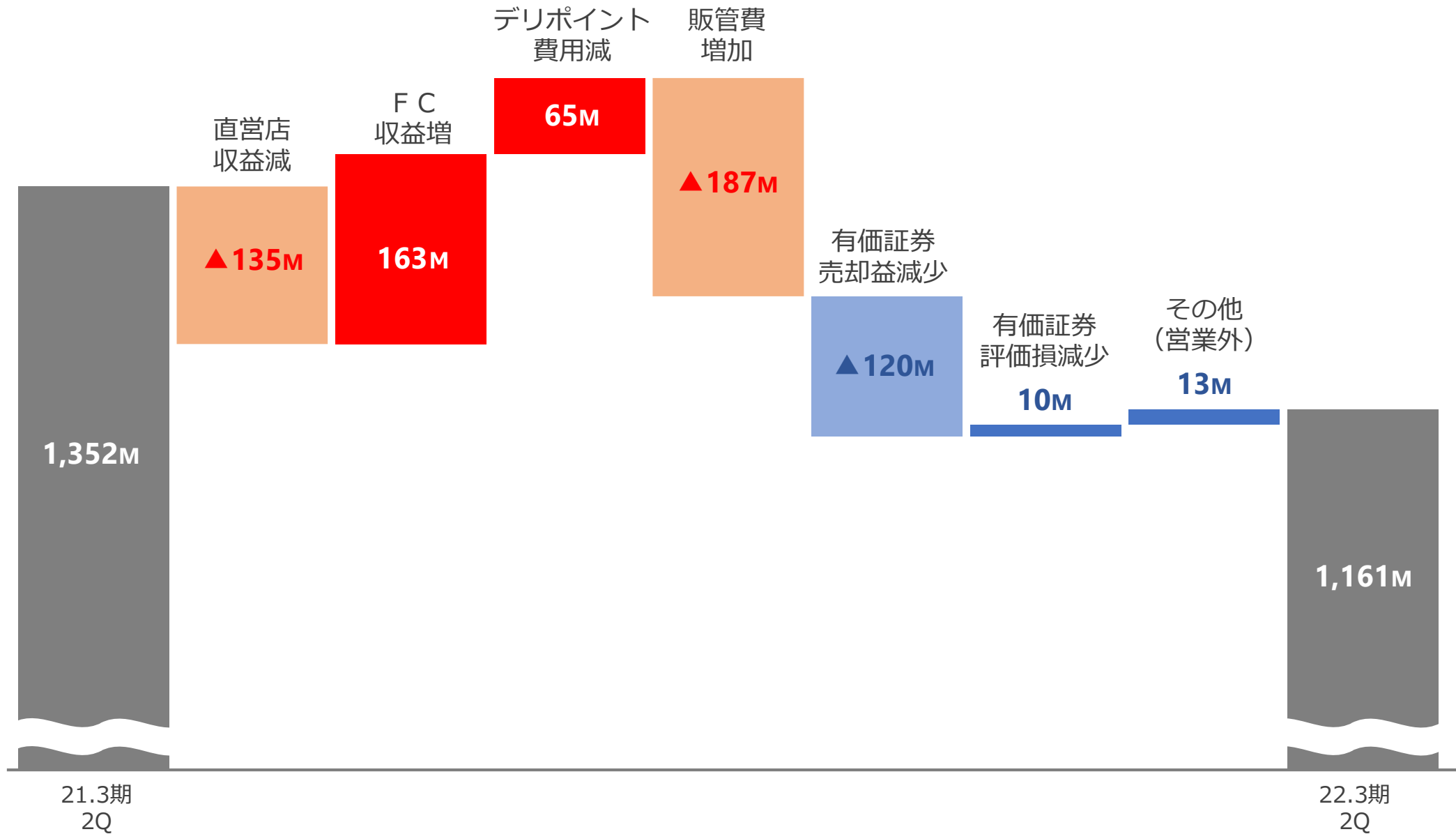
<経常利益> 前期比+28百万円、増減率+4.3 %

- 売上獲得のマーケティング、新たなシステム開発、新たなデリバリーブランド開発、投資有価証券売却益の減少があるものの、売上高の増加により経常利益は増益となる。

■ 売上高 ■ 経常利益 (百万円)



経常利益の前期比増減の構成 通期



店舗数・拠点数の増減

事業形態	ブランド	21.3期末 店舗数	出店	閉店	22.3期 2Q店舗数
宅配事業	銀のさら	357	5	－	362
	釜寅	201	7	－	208
	すし上等！	147	－	－	147
	DEKITATE	－	1	－	1
宅配代行業	ファインダイン	34	－	△17	17
その他	和食レストラン	2	－	－	2
合計		741	13	△17	737

	21.3期末 拠点数	拠点開設	拠点閉鎖	区分変更	22.3期 2Q拠点数
直営店	101	4	－	△2	103
FC店	263	2	－	2	267
合計	364	6	－	0	370

連結B/S 対前期末

(単位：百万円)	21.3期末	22.3期2Q	前期比	ポイント
流動資産	8,482	7,807	△674	資産 △578百万円 ----- 【流動資産】△674百万円 ・ 現金及び預金 △1,190百万円 ・ 売掛金 + 68百万円 ・ 原材料及び貯蔵品 + 156百万円 ・ その他 + 294百万円 【固定資産】+95百万円 ・ 有形固定資産 + 82百万円 ・ 無形固定資産 + 13百万円
(うち現預金)	5,259	4,068	△1,190	
有形固定資産	891	974	+82	
無形固定資産	486	500	+13	
投資その他資産	2,453	2,453	△0	
資産合計	12,314	11,735	△578	
流動負債	4,040	3,411	△629	負債 △841百万円 ----- 【流動負債】△629百万円 ・ 未払金 △260百万円 ・ 未払法人税等 △174百万円 ・ 契約負債 + 210百万円 ・ ポイント引当金 △168百万円 ・ その他 △219百万円 【固定負債】△212百万円 ・ 長期借入金 △220百万円
(うち1年内有利子負債)	440	440	±0	
固定負債	893	681	△212	
(うち1年超有利子負債)	392	172	△220	
負債合計	4,934	4,092	△841	
株主資本	7,301	7,569	+268	純資産 +262百万円 ----- 【株主資本】+268百万円 ・ 四半期純利益 + 732百万円 ・ 自己株式取得 △165百万円 ・ 配当金支払額 △321百万円
純資産合計	7,380	7,642	+262	
負債・純資産合計	12,314	11,735	△578	

取り組み：完全養殖技術で水産資源を守る「近大」と「銀のさら」が再コラボ

宅配寿司「銀のさら」において、水産資源の保護活動支援を目的に、完全養殖技術の研究により水産資源の増産に寄与している「近畿大学水産研究所（以下、近大）」とのコラボレーション企画として、期間限定で"ブリ"と"ヒラマサ"のハイブリッド魚「ブリヒラ®」を使用した『近大生まれのブリヒラ』3商品を販売いたしました。

「近大」と「銀のさら」の、2度目のコラボレーション企画となります。



取り組み：山梨県産極上うなぎを使った『温泉ワインうなぎ釜飯』が限定登場

宅配御膳「釜寅」において、ワンランク上の山梨県産の極上うなぎ「温泉ワインうなぎ」を使用した『温泉ワインうなぎ釜飯』を期間&数量限定で販売いたしました。

「温泉ワインうなぎ」は、山梨県の豊富な温泉湧水を利用した環境で育成された肉厚で皮や身が柔らかいうなぎを深蒸しし、山梨県産の赤ワインを使った特製の蒲焼ダレで焼き上げました。脂がのって、うなぎ本来の味が濃く、雑味のない国産うなぎならではの上品な味わいです。



取り組み：新宅配サービス「DEKITATE」に、新たなブランドが登場しました

2021年9月、新事業となる宅配サービス「DEKITATE（デキタテ）」に、新たなブランド「鰻一本重 ゆす木」が登場しました。

厳選された高知県産活鰻をじっくり焼き上げ、1本まるごと炊き立てのご飯の上に盛りつけた贅沢なお重を、ご自宅、職場などでお楽しみください。



通期業績予想 – 連結

売上高237億円（前期比△6.4%）、経常利益18.0億円（前期比△25.8%）

- 新型コロナウイルス感染症によるデリバリー需要は前年並みと推定。
- 但し、21.3期第1四半期の緊急事態宣言による特需効果は除外。

※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

(単位：百万円)	21.3期 通期 実績(連結)	22.3期 通期 予想(連結)	前期比
	下段： 売上構成比%	売上構成比%	前期増減率%
売上高	25,384	23,762	△1,621
	-	-	△6.4%
営業利益	2,419	1,803	△615
	9.5%	7.6%	△25.4%
経常利益	2,430	1,802	△627
	9.6%	7.6%	△25.8%
当期純利益	1,497	1,140	△357
	5.9%	4.8%	△23.9%
1株当たり当期純利益	140.85円	106.43円	△34.42円

短期の重点戦略

フードデリバリー需要増加を受け積極攻勢

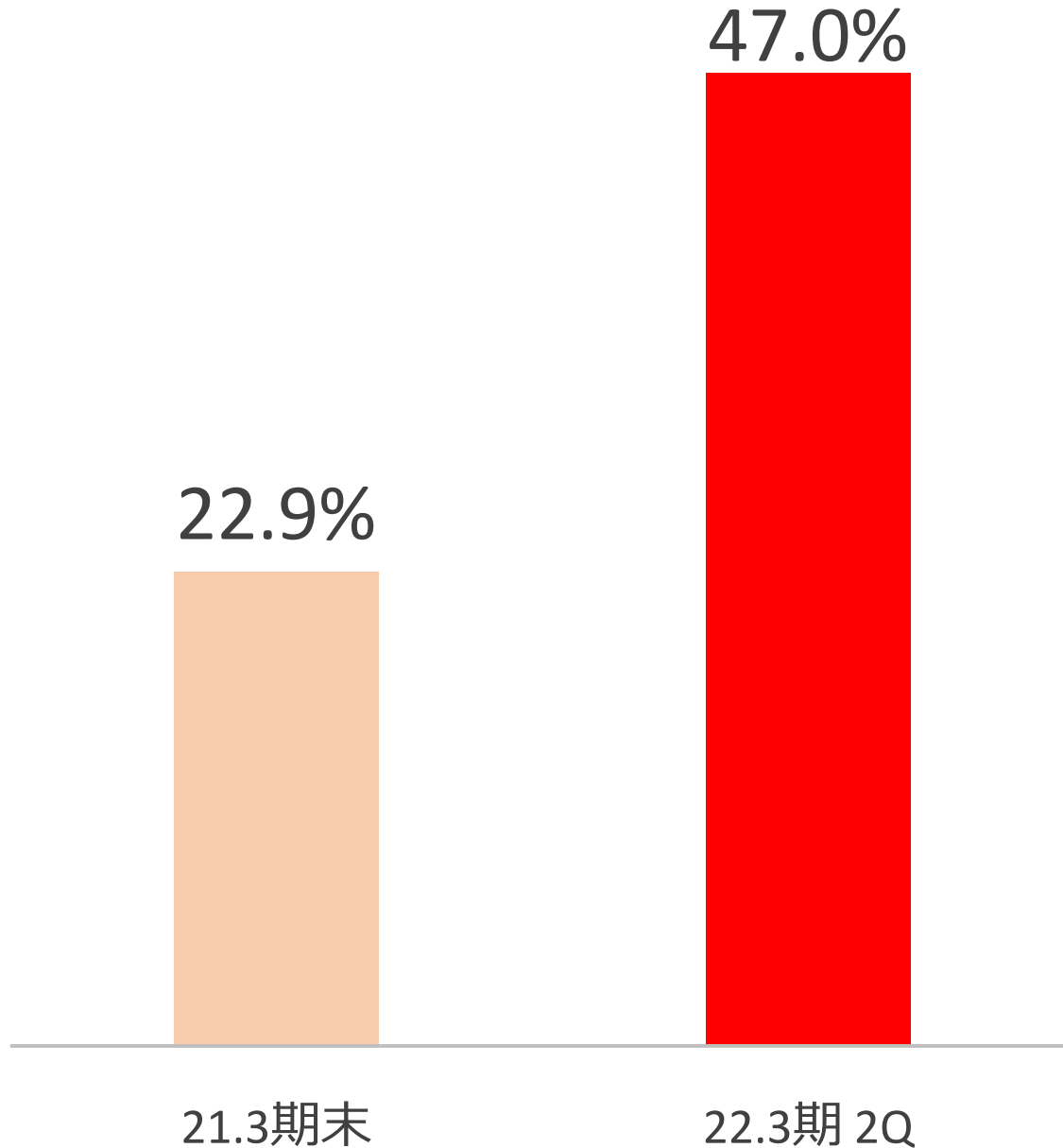
【4つの重点施策】

配達告知時間の短縮による潜在需要の取り込み
オリジナルブランドの販売チャネルの多角化
テイクアウト併設店の増店
新規エリアへの出店加速

新規事業開発

DEKITATE事業の検証

配達告知時間の短縮による潜在需要の取り込み



配達時間短縮化は
順調に推移。

※ 宅配寿司「銀のさら」「すし上等!」と宅配御膳「釜寅」における、配達告知時間が30分以内件数の、総配達件数に対する比率です。

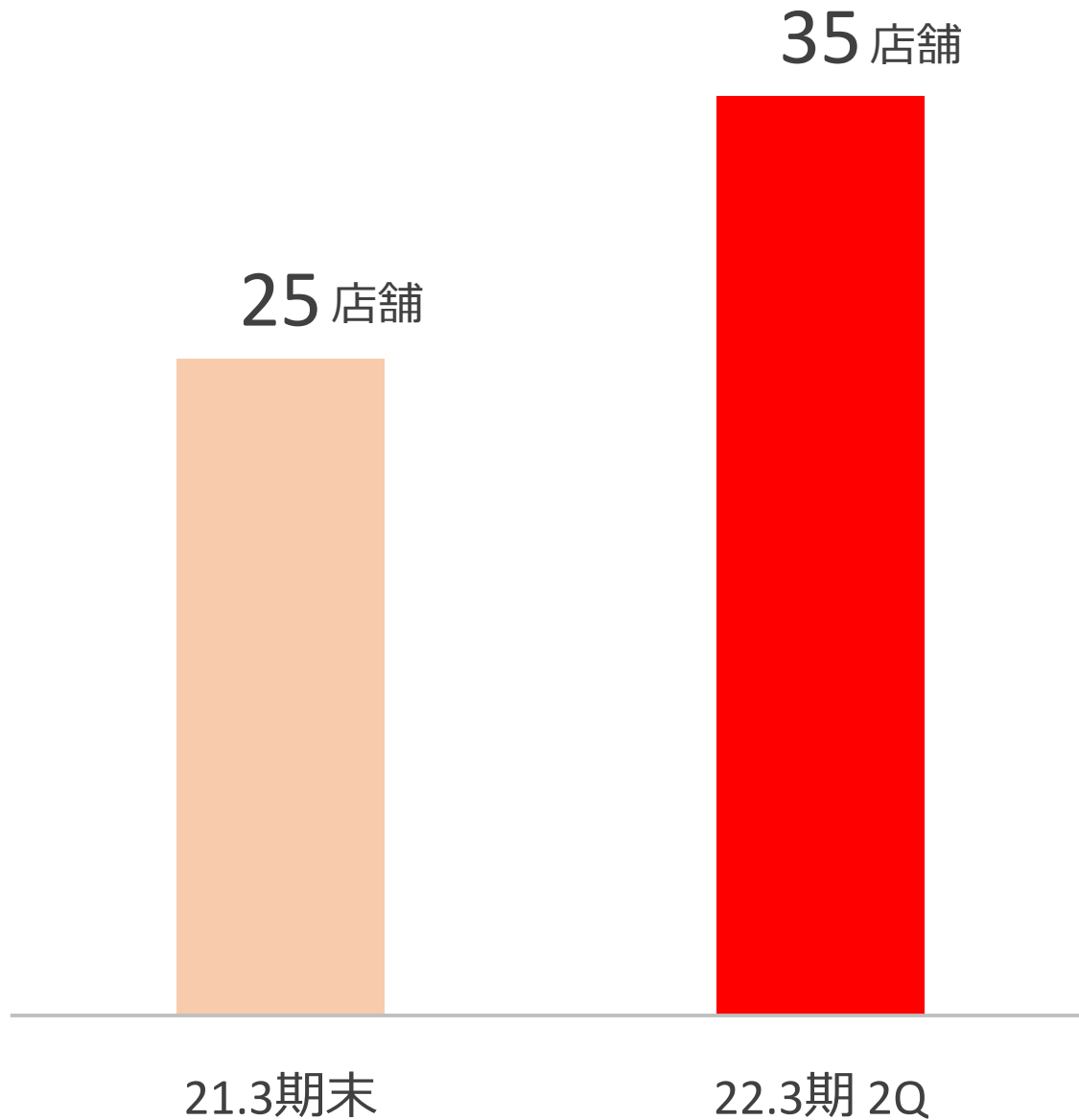
※ 2021年9月末時点の対象直営店の数値です。

オリジナルブランドの販売チャネルの多角化



宅配寿司「すし上等！」
都内3店舗で検証出店。

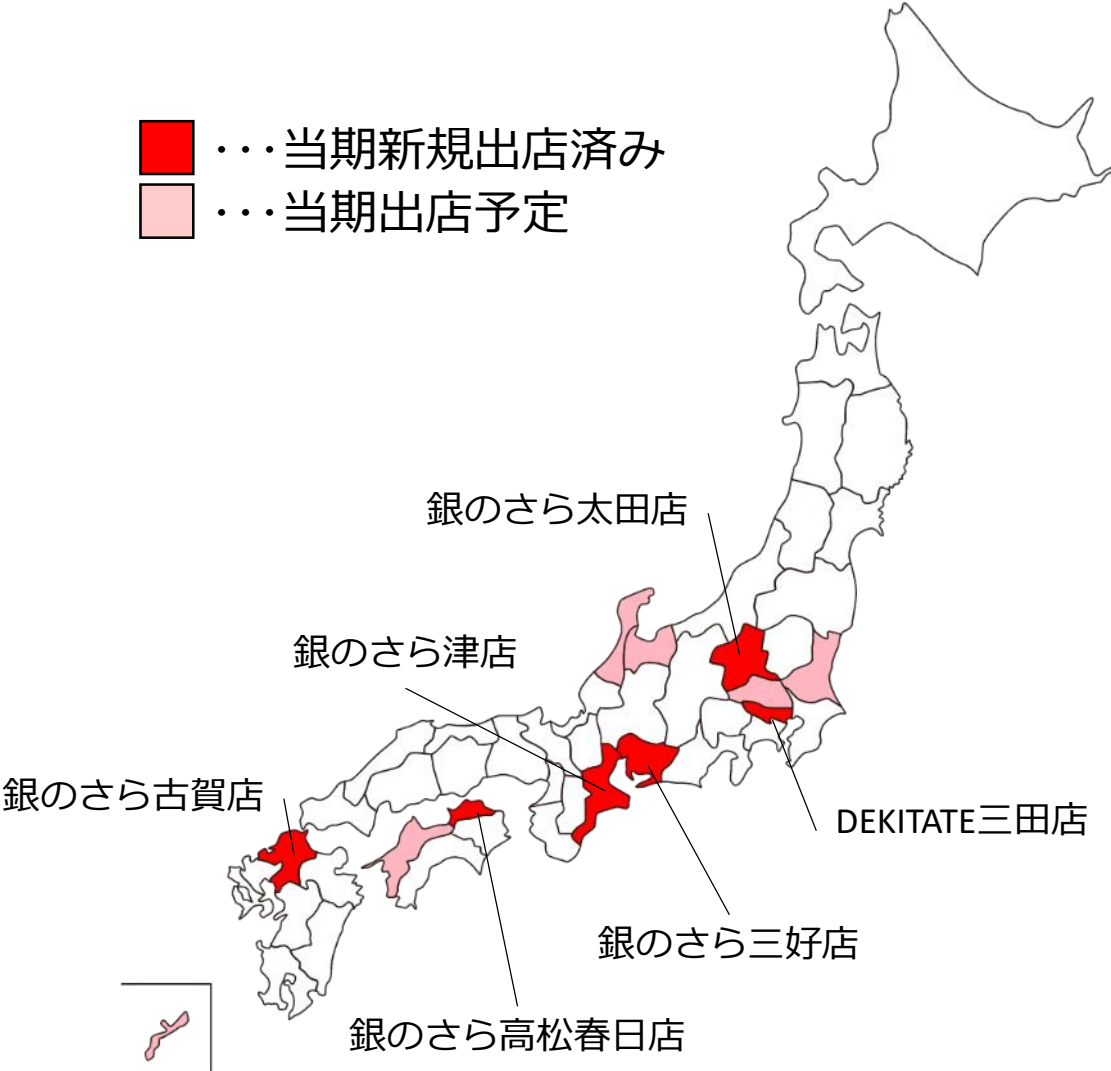
テイクアウト併設店の増店



最適な人的配置により
前期比+10店舗

新規エリアへの出店加速

- … 当期新規出店済み
- … 当期出店予定



6 エリアへ出店 下期も加速

新店・移転店舗一覧



新店：銀のさら古賀店



移転：銀のさら新伊勢崎店



移転：銀のさら市川中央店



移転：銀のさら新伊勢崎店

ライドオンが目指す経営目標

拠点数

500 拠点

(21.3期末 364拠点)

ブランド
店舗数

1,000 店舗

(21.3期末 741店舗)

チェーン
総売上高

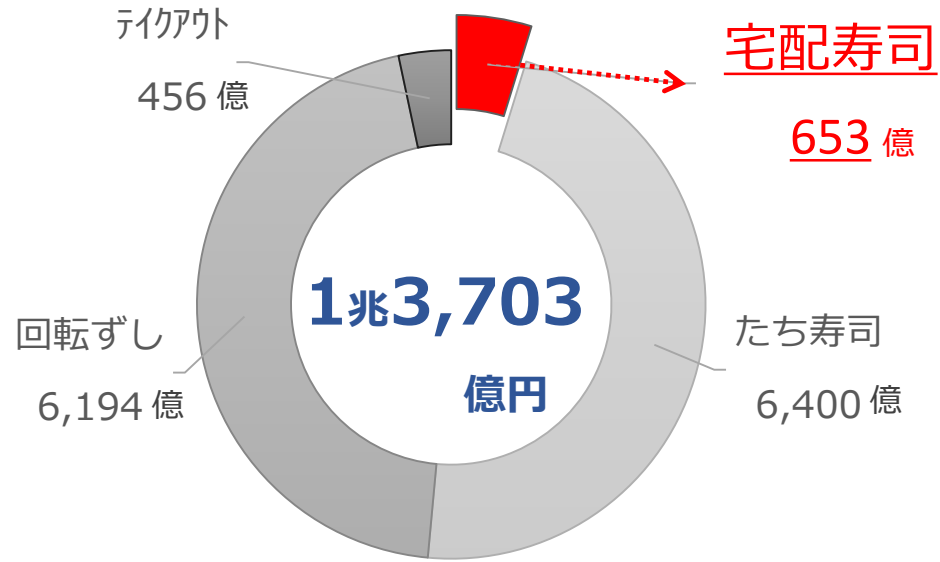
600 億

(21.3期末 425億)

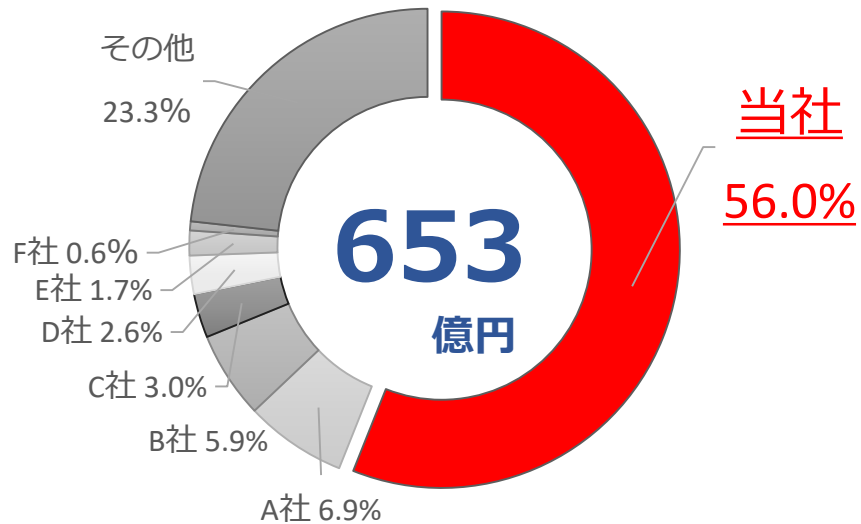
補足資料

市場規模

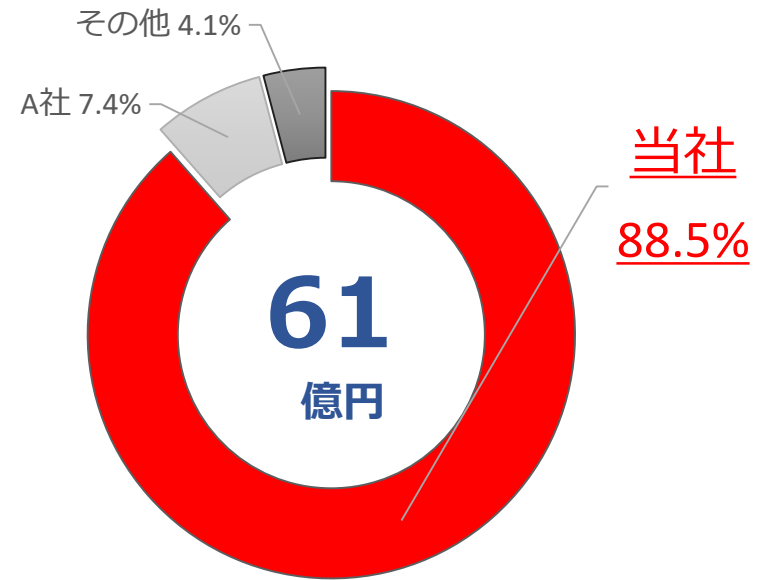
※株式会社富士経済（外食産業マーケティング便覧2021）より



日本の寿司市場 (2020年実績)



宅配寿司市場 (2020年実績)



宅配釜飯市場 (2020年実績)



RIDE ON EXPRESS
HOLDINGS